



ろうさい連携だより

2012.5

第 11 号

病院の理念

満足と納得が得られる医療の実践

基本方針

- 1 患者さんの安全と安心を第一に考える医療を提供します
- 2 患者さんの権利を尊重し、思いやりのある医療を実践します
- 3 科学的根拠に基づく質の高い医療を提供します
- 4 地域の方々と勤労者の健康管理を支援します



秣岳（まぐさだけ）にて（撮影：中央放射線部 晴山良紀）

目次

- p1 新病院長のあいさつ ● 病院長
- p2 人事異動について
- p3 病診連携サービス実態調査のご報告
- p4 地域医療連携室から
- p4 Topics ● 市民講座
- p4 お知らせ
- p4 今月の投稿

新病院長のあいさつ



病院長 佐藤 克巳

爽やかな新緑の候となり、先生方におかれましてはご健勝にて初夏の到来をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より東北労災病院登録医の先生方には多くのご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

2011年3月11日に勃発した東日本大震災から1年が過ぎました。東日本太平洋沿岸部は想像を絶する大津波に襲われ多くの人命が失われ、広範な地域が廃墟と化しました。さらに福島第一原発の崩壊という災害が誘発され、多くの日本人が沈痛な思いを強いられました。登録医の先生方にも様々な損害や想いが残されていることと思います。病院も少なからず被災し手術室の機能が一時麻痺しましたが、現在は完全に回復して通常通りの手術室機能を回復いたしました。管理棟の改修工事も無事に終了し、壁を覆っていた幕も取り除かれて綺麗になった外壁タイルが姿を現しました。新装なった東北労災病院の玄関として皆様をお迎えいたします。

4月1日より三浦前病院長の後任として新病院長に就任いたしましたので、御挨拶を申し上げます。私は、副院長兼整形外科部長として12年間東北労災病院で働いてきました。整形外科医としては昭和61年から勤務していますので、約28年間働いてきたことになります。この間東北労災病院は新診療棟の改修を経て、最新の病院に生まれ変わりました。多くの優秀な医療スタッフも集まり、医師数は110名を超えるまでになりました。これらのスタッフの協力を得て、これまで行ってきた急性期医療を中心にした地域の中核医療機関として活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

今年度も多くの課題があります。登録医の先生方との窓口となる医療連携室のさらなる充実を図るために、MSWと共同作業ができるような広いスペースを確保いたしました。玄関左側の連携室は管理棟エレベーター前に移動いたします。連携室のスタッフも看護師とMSWを含む総勢8名となり、これまでよりも迅速により細やかな対応ができるようになりますので、これまで以上のご利用をお願いいたします。6階東病棟内には、新しくHCUを開設する予定になっております。呼吸器・循環器疾患の重症例が入室基準になりますが、外科手術後や肝疾患の重症例も適応になると考えております。集中治療が行えるようになり重症例の受け入れも容易になるのではと期待しております。病院近代化の一環として、6月からフィルムレス化が始まる予定です。レントゲンフィルムは撤収され、モニターを見ながらの診察・説明になります。まだ新しい設備に不慣れな職員も徐々に精通していくものと思いますので、よろしくお願いいたします。

東北労災病院のこれらの成否は、先生方のご評価を待たなければなりません。職員一同、これまで賜りましたご支援の重みをしっかりと受け止め、更なる飛躍を期したいと思います。先生方におかれましては、今年度もどうぞよろしくご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

人事異動について

採用

平成24年4月1日付



循環器内科
高橋 務子



胃腸科
齋藤 大輔



消化器外科
鈴木 洋



消化器外科
又吉 信貴



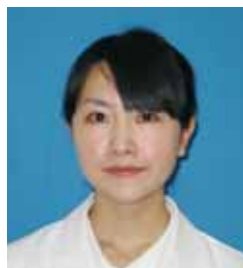
スポーツ整形・関節外科
檜森 興



整形・リウマチ外科
小倉 健



整形外科
橋本ちひろ



皮膚科
柿崎 彩



泌尿器科
大原英一郎



耳鼻咽喉科
工藤 貴之



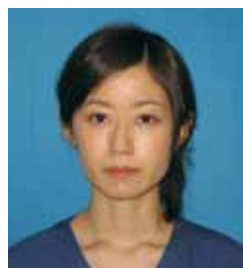
耳鼻咽喉科
原 陽介



放射線診断科
鈴木 雅也



放射線治療科
佐藤 友美



麻酔科
小瀬川優子

退職

平成24年3月31日付

院長 三浦 幸雄
(平成24年4月1日付 検体検査管理者として採用)

糖代謝内科 中澤麻美子

循環器内科 田代 篤史

消化器外科 松村 勝

整形外科 三宅 公太

泌尿器科 佐竹 洋平

糖代謝内科 工藤 苑子

腫瘍内科 田上 恵太

小児科 江口 絢子

整形外科 園淵 和明

皮膚科 菅原 正幸

耳鼻咽喉科 沖津 尚弘

糖代謝内科 池端 史子

循環器内科 佐治 賢哉

消化器外科 野村 良平

整形外科 永元 英明

皮膚科 玉渕恵里佳

麻酔科 小林 直也

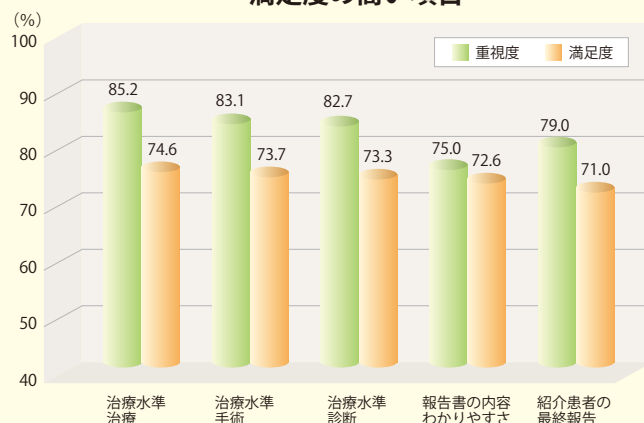
平成24年4月15日付

耳鼻咽喉科 小澤 大樹

病診連携サービス実態調査のご報告

連携サービス実態調査は毎年10月に実施しております。昨年は200の医療機関にご協力をお願いいたしました。先生方にはお忙しい中ご回答をお寄せ頂き誠にありがとうございました。遅くなりましたが、調査のご報告をいたします。

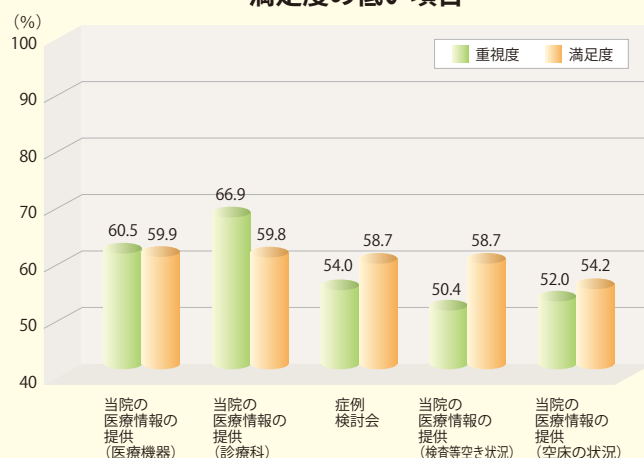
満足度の高い項目



紹介元の先生方との連絡を密にし、的確な診断、治療、手術を行えるよう、一層努力いたします。

また、治療経過の報告は速やかにお送りするよう心がけておりますが、報告書が遅れている場合は地域医療連携室までご連絡くださいますようお願いいたします。

満足度の低い項目



医療機器や診療科の情報発信が不十分であることが分かりました。医師の専門分野を連携だよりやインターネット上で分かりやすくご覧いただけるように改善を図ります。

◆頂いたご意見、ご要望（一部抜粋）

- ホームページのナビゲーションが悪く、目的の情報にたどり着けない。
- 至急紹介したい患者への対応について一考を。（担当医に繋がるまで時間がかかる）
- 患者が再入院を希望した場合、休日や時間外であってもできるだけ対応して欲しい。

緊急時の診察ご依頼につきましては、可能な限り該当診療科の医師に直接お繋ぎするよう態勢を取っております。

これからも、登録医の先生方には「サービス実態調査」をお願いすることと思いますが、是非率直なご意見やご指摘を頂けたら幸いに存じます。

この他お気づきの点、ご不明な点がございましたら地域医療連携室までご連絡ください。

地域医療連携室から

◆連携室の体制が変わります

5月下旬より「地域医療連携室」が場所を移転し「地域医療連携センター」となります。

新しいセンターではMSW、看護師、事務員の8名体制で前方、後方の連携の強化にあたりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

◆月別紹介患者数

	紹介患者数(人)	逆紹介患者数(人)
平成23年11月	1,188	701
平成23年12月	1,040	677
平成24年 1月	953	605
平成24年 2月	1,049	598

Topics

第8回市民講座報告

平成24年2月25日(土)開催

「心筋梗塞から身を守る」胸が痛いと思ったら…と題して小丸循環器科部長の講演を行いました。胸の痛みの原因はいくつもあること。また、激しい運動の後や月曜の寒い朝は心筋梗塞の発症の確率が高いこと、宮城県では入院死亡率が10年前と比較して低下していることも発表されました。心筋梗塞は確かに怖い病気ですが、実像を正しく知り、自分の生活習慣を修正することで避けうる可以降低の病気であると締め括られました。

後半は和田リハビリテーション技師長による「健康づくりのための運動」と題した講演で、頑張りすぎて体力以上の運動をしてしまうことの弊害や、運動をする時は心拍数を意識しながら適度な強度で行うことが大切であると語られました。

朝からの雪模様でしたがおよそ80名の参加がありました。

お知らせ

第13回 日本呼吸器学会東北支部 肺の日市民公開講座

日時 平成24年8月4日(土) 13:30～15:30

場所 仙台国際センター 3階中会議室「白樺」

司会 三浦 元彦(東北労災病院 呼吸器科部長)

講師 小川 浩正(東北大学環境安全推進センター)

遠藤 千顕(東北大学大学院医学研究科)

和田 昌一(東北労災病院リハビリテーション科技師長)

詳細なプログラムは後日ご案内いたします。

今号の投稿

時は

さすがのヒマジンも、たまにはLife is very shortと唄ったりして、時の大事さをかみしめる。また、Only time will tell if you're right 人生の行方は時のみぞ知る、と語る。恋の行方も時が教える。永久の愛はない。時は、激しい熱愛にすら容赦なく終わりを告げる。他方、われわれにつきまとう不安や悩みも時が解消してくれる。

時間は、神がこの世にもたらした最高の創造であろうか。万能であり決定的である。しかし、現代人は即断即決を求められがち。余裕がなく、待つのが苦手。

診療は、一時点での診察が少なくない。検査で何でもわかる、何でも見える、と錯覚される昨今。即断は誤診を招きやすい。余裕を持ってできれば診断を先延ばしすれば正診率は高まる。研修医諸君。問診、理学的所見、画像診断、検査所見。でも時間診断をお忘れなく。急場のトリアージであっても、ちょっとのゆとりは必要だ。

ヒマジンより



交通案内

交通(仙台駅から)

- 市営バス(のりば17番)
○瞑想の松循環
(県庁市役所経由)
労災病院前下車
- 市営バス(のりば23番)・
宮城交通バス(のりば20～22番)
○黒松団地・地下鉄泉中央方面、
台原入口下車、徒歩5分
- JR
北仙台駅下車、徒歩15分
- 地下鉄
台原駅下車、南2出口徒歩10分



独立行政法人 労働者健康福祉機構 **東北労災病院**

〒981-8563 仙台市青葉区台原4-3-21

TEL.022-275-1111(代表) FAX.022-275-4431

ホームページ <http://www.tohokuh.rofuku.go.jp>

地域医療連携室

TEL.022-275-1467(直通) FAX.0120-772-061